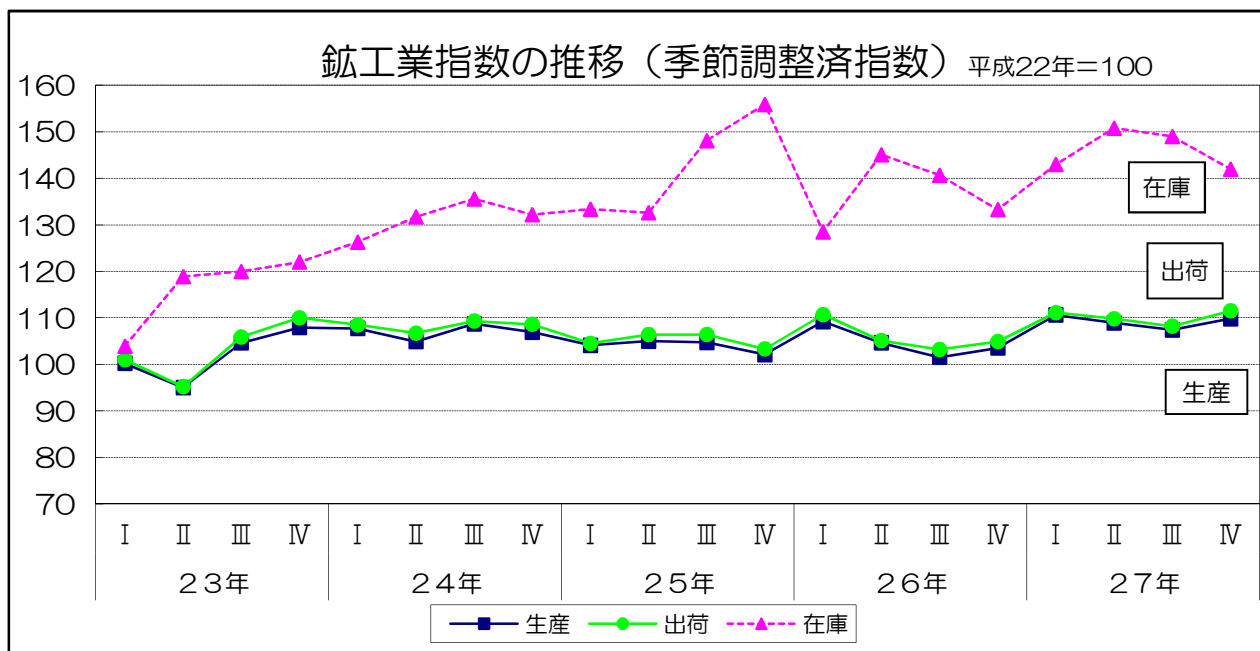


平成27年の福岡県鉱工業指数の動向

1 概況

(1) 業種別動向（全19業種・主要業種の動向はp.5以降を、全業種の推移はp.13以降を参照）

- ① 生産
27年の生産指数は109.2で、前年比4.4%増と2年連続の上昇となった。
業種別では、家具工業、窯業・土石製品工業など10業種は低下したものの、
輸送機械工業、電子部品・デバイス工業など9業種が上昇した。
- ② 出荷
27年の出荷指数は110.1で、同4.0%増と2年連続の上昇となった。
業種別では、鉄鋼業、家具工業など11業種は低下したものの、輸送機械工業、
電子部品・デバイス工業など8業種が上昇した。
- ③ 在庫（全18業種）
27年の在庫指数は138.9で、同3.3%増と2年ぶりの上昇となった。
業種別では、電気機械工業など8業種は低下したものの、
はん用・生産用機械工業、輸送機械工業など10業種が上昇した。



鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	101.7	107.2	103.9	104.6	109.2	110.6	108.9	107.4	109.8
前期(年)比	—	—	—	—	—	6.9	▲1.5	▲1.4	2.2
前年同期比	—	—	—	—	—	2.1	4.5	6.4	4.7
出荷	102.8	108.6	105.1	105.9	110.1	111.1	109.8	108.2	111.5
前期(年)比	—	—	—	—	—	5.9	▲1.2	▲1.5	3.0
前年同期比	—	—	—	—	—	1.5	4.9	5.0	4.8
在庫	120.8	130.6	156.4	134.4	138.9	143.0	150.8	149.0	142.0
前期(年)比	—	—	—	—	—	7.3	5.5	▲1.2	▲4.7
前年同期比	—	—	—	—	—	10.1	4.1	7.7	3.3

指数業種別寄与度
年比寄与度

(%)

5.0

4.0

3.0

2.0

1.0

0.0

機械工業・↑

[食料品・たばこ工業・↑]
・ビール等

[家具工業・↓]
・システムキッチン
・木製ドレッサー等

0.5

▲ 0.3

化学

石炭製品

金属製品

繊維

食料品・たばこ

ゴム製品

家具

印刷

木材・木製品

鉱業

(%)

[はん用・生産用機械工業・↑]

[輸送機械工業・↑]

[電機]

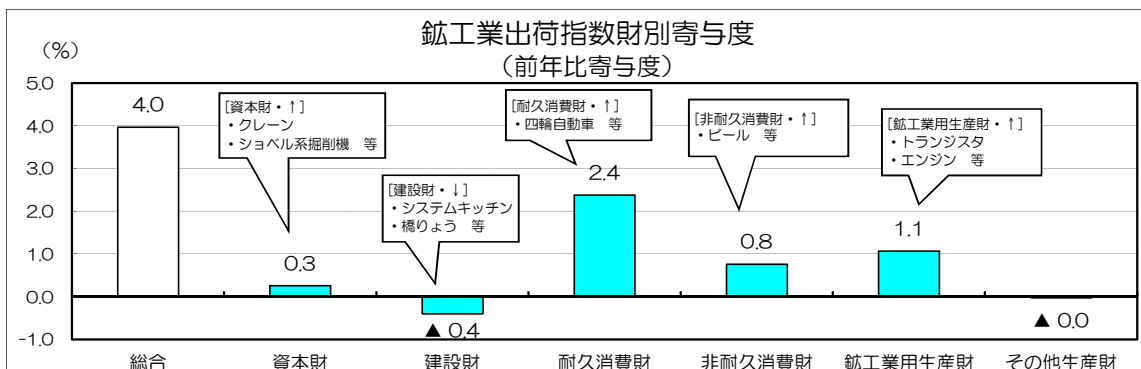
(2) 財別動向（生産・在庫の詳細はp.38以降を参照）

財別の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して最終需要の動きを把握することができる。

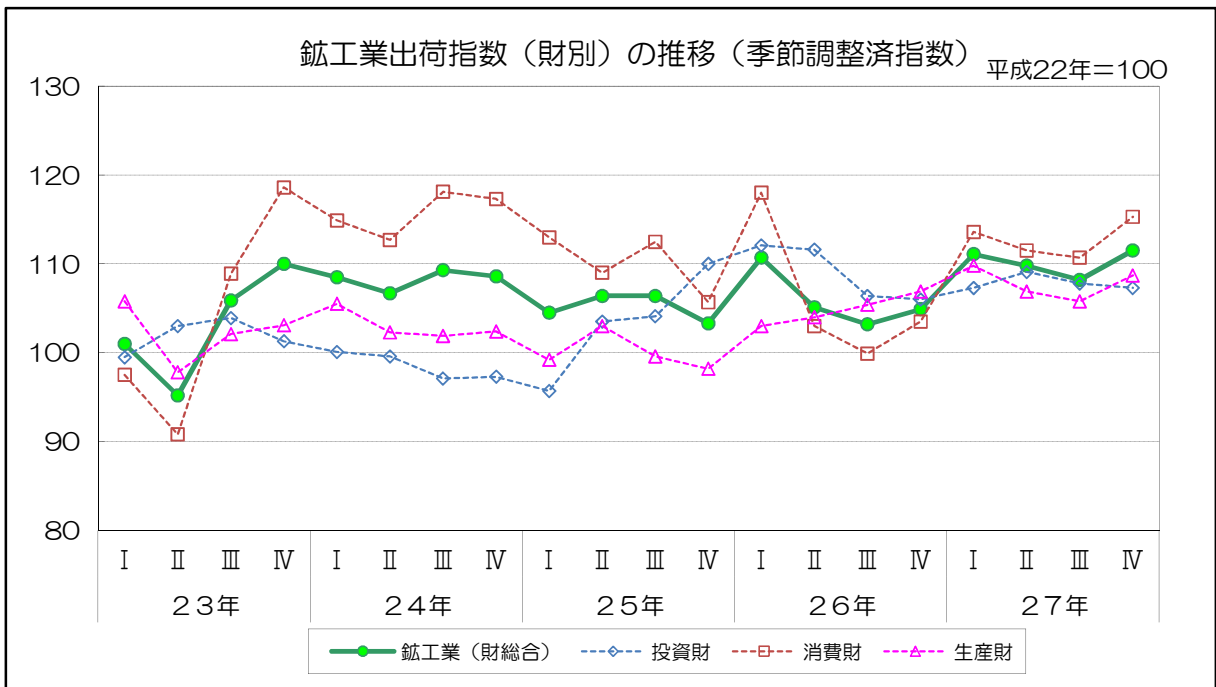
- 総合出荷指数は110.1で、前年比4.0%増で2年連続の上昇となった。最終需要財は同4.9%増と3年ぶりの上昇となった。生産財は同2.8%増と2年連続の上昇となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、クレーン、ショベル系掘削機などが上昇したため、同3.5%増で3年連続の上昇となった。建設財は、システムキッチン、橋りょうなどが低下したため、同5.5%減と2年連続の低下となった。耐久消費財は、四輪自動車などが上昇したため、同7.8%増で3年ぶりの上昇となった。非耐久消費財は、ビールなどが上昇したため、同4.7%増で3年ぶりの上昇となった。
- 生産財のうち、鉱工業用生産財は、トランジスタ、エンジンなどが上昇したため、同3.1%増と2年連続の上昇となった。その他用生産財は、平版印刷（オフセット印刷）などが低下したため、同0.6%減と6年ぶりの低下となった。

鉱工業出荷指数（財別）の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数） 平成22年=100

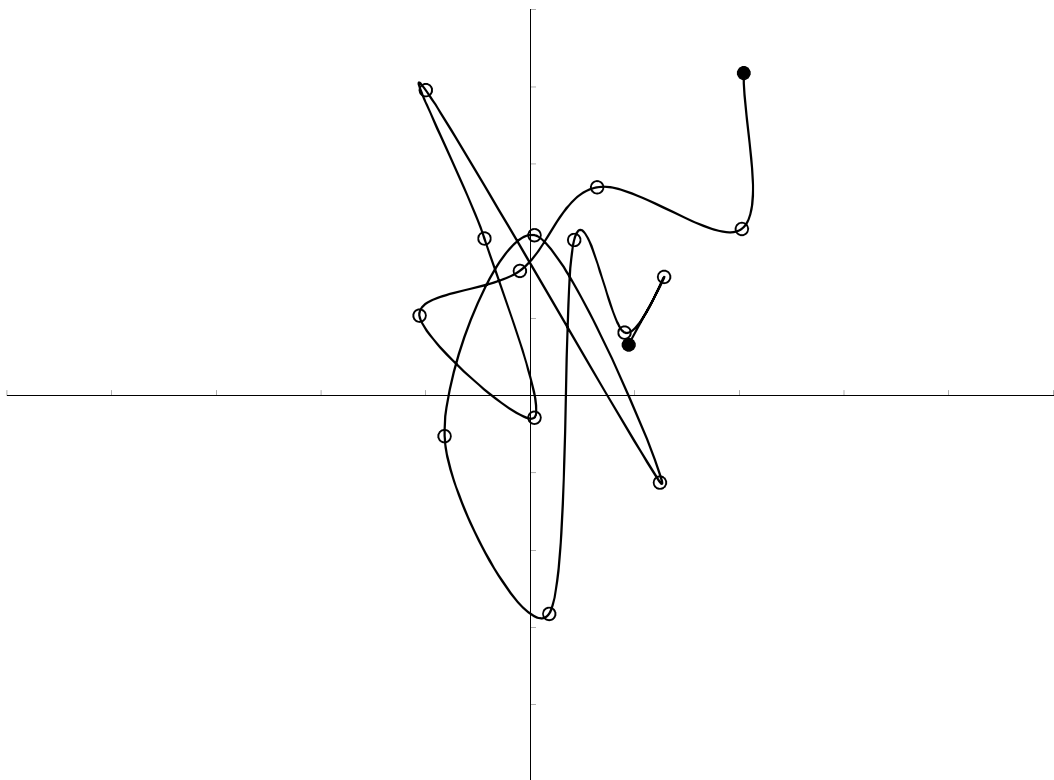
	23年	24年	25年	26年	27年	I	II	III	IV
鉱工業総合	102.8	108.6	105.1	105.9	110.1	111.1	109.8	108.2	111.5
前期（年）比	2.8	5.6	▲3.2	0.8	4.0	5.9	▲1.2	▲1.5	3.0
前年同期比	—	—	—	—	—	1.5	4.9	5.0	4.8
最終需要財	103.4	112.0	108.4	106.5	111.7	111.9	111.4	110.0	113.2
前期（年）比	3.4	8.3	▲3.2	▲1.8	4.9	7.9	▲0.4	▲1.3	2.9
前年同期比	—	—	—	—	—	▲2.7	6.5	8.9	7.3
投資財	101.9	98.8	103.3	108.8	107.8	107.3	109.1	107.8	107.3
前期（年）比	1.9	▲3.0	4.6	5.3	▲0.9	1.2	1.7	▲1.2	▲0.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲3.7	▲1.8	0.9	0.6
資本財	104.1	92.8	95.9	110.0	113.8	110.7	119.2	112.5	113.6
前期（年）比	4.1	▲10.9	3.3	14.7	3.5	0.9	7.7	▲5.6	1.0
前年同期比	—	—	—	—	—	0.9	6.6	3.4	3.3
建設財	99.7	104.8	110.7	107.7	101.8	102.8	102.4	102.1	100.8
前期（年）比	▲0.3	5.1	5.6	▲2.7	▲5.5	0.6	▲0.4	▲0.3	▲1.3
前年同期比	—	—	—	—	—	▲8.3	▲9.3	▲1.8	▲1.9
消費財	103.8	116.1	110.0	105.8	112.9	113.6	111.5	110.7	115.3
前期（年）比	3.8	11.8	▲5.3	▲3.8	6.7	9.8	▲1.8	▲0.7	4.2
前年同期比	—	—	—	—	—	▲2.3	9.2	11.3	9.5
耐久消費財	111.6	128.5	120.4	116.0	125.1	127.9	125.2	119.7	126.9
前期（年）比	11.6	15.1	▲6.3	▲3.7	7.8	15.3	▲2.1	▲4.4	6.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲1.6	9.8	13.2	11.6
非耐久消費財	92.4	97.8	94.6	90.7	95.0	91.3	93.1	96.0	97.7
前期（年）比	▲7.6	5.8	▲3.3	▲4.1	4.7	▲1.2	2.0	3.1	1.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲4.3	8.1	7.8	6.2
生産財	102.0	103.2	99.9	104.8	107.7	109.8	106.9	105.8	108.7
前期（年）比	2.0	1.2	▲3.2	4.9	2.8	2.7	▲2.6	▲1.0	2.7
前年同期比	—	—	—	—	—	8.6	2.4	▲0.8	0.9
鉱工業用生産財	101.9	102.3	98.5	103.0	106.2	108.5	105.6	104.1	107.4
前期（年）比	1.9	0.4	▲3.7	4.6	3.1	3.1	▲2.7	▲1.4	3.2
前年同期比	—	—	—	—	—	9.7	2.9	▲1.0	1.2
その他用生産財	102.7	111.8	113.3	121.8	121.1	122.5	118.2	122.0	122.1
前期（年）比	2.7	8.9	1.3	7.5	▲0.6	▲1.3	▲3.5	3.2	0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	0.2	▲1.5	0.7	▲1.3



※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載



(3) 在庫循環図
 在庫循環状況を見ると、27年は「在庫積み上がり局面」から「在庫積み増し局面」へ推移し、その後再び「在庫積み上がり局面」を経て「在庫積み増し局面」へと推移している。



※在庫循環図の見方
 横軸に生産、縦軸に在庫の前年同月（期）比をとり、生産と在庫の関係から現状を判断する。
 一般的に、右斜め上45°より下にあるときは景気の回復期で、上にあるときは後退期と考えられる。